

第18回 新潟技調講演会



日時：平成29年9月28日(木)
会場：新潟グランドホテル 5F「常磐の間」

13:30~15:00
新潟市中央区下大川前通3/町2230番地

基調講演

「新潟港の繁栄と開港の意義」

江戸時代、新潟港は日本海側の拠点港であり、新潟町は港町として地域経済の中心地であった。新潟港はその繁栄の故に開港場に選ばれる。明治期、対外貿易港としての発展はなかったが、以後も国内流通の拠点として機能し、さらに開港地となったことで、新潟町は「県都」として新たな発展を遂げるようになった。本講演では新潟市発展の一基点としての開港について考える。

講師プロフィール

いとう すけゆき

講師：伊東 祐之 氏

略歴：1952年長野県生まれ。新潟市で育ち、新潟大学・東北大学大学院で日本史を学ぶ。1987年から新潟市に勤務し、新潟市史の編集にたずさわる。2001年から新潟市歴史博物館の開設準備を担当し、2004年3月の開館から新潟市歴史博物館学芸課長。2011年から副館長。



プログラム

時間	内容
13:00	開場
13:30	開会
13:35	挨拶 新潟港湾空港技術調査事務所長 佐 昭二
13:40~14:40	基調講演 「新潟港の繁栄と開港の意義」 新潟市歴史博物館副館長 伊東 祐之 氏
14:40~15:00	報告 「棧橋式岸壁における維持管理を考慮した構造（リプレイサブル棧橋上部工）」 新潟港湾空港技術調査事務所 長井 一平
15:00	閉会

申込方法

定 員：150名(先着順)
申し込み：FAX・はがき・Mailで裏面の内容をお送りください。
※ 切：9月20日(水)必着
●住所：〒951-8011 新潟市中央区入船町4丁目3778番地
●FAX：025-227-1205
●Mail：pa.hrr-gichoinfo@mlit.go.jp
問い合わせ先：新潟港湾空港技術調査事務所 調査課 025-222-6115(代)



新潟港湾空港技術調査事務所の役割 未来へ導く確かな技術

〈未来に向かう技術開発〉

- 港や海岸などの環境を守るための技術開発
- コスト縮減につながる新設計手法の確立
- 港などの構造物保全のための技術開発

〈港の安全のために〉

- 航行安全・海洋環境保全のための作業船の整備
- 安全施工のための技術開発

〈人々の暮らしのために〉

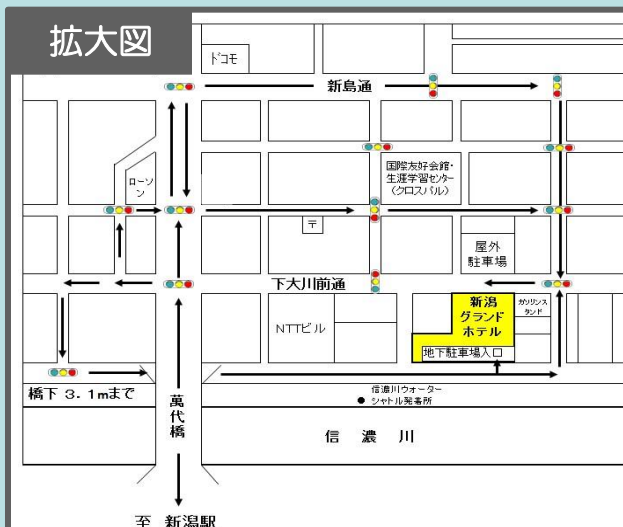
- 人々の暮らしを支える物流拠点となる港などの設計
- だれもが使いやすく、安全で親しまれる公共施設の設計

〈海を知るために〉

- 港の整備に必要な不可欠な波などのデータベースの管理・活用
- 波や港の構造物などに関する調査・実験

会場（新潟グランドホテル）へのアクセス

- ▶ バス：新潟駅万代口よりバスターミナル7番または8番（大人／210円）→「礎町」下車（約5分）、徒歩2分
 - ▶ お車：新潟バイパス 桜木I.Cより約20分
 - ▶ 駐車場：屋外駐車場・地下駐車場 約100台
- 所在地：〒951-0852 新潟市中央区下大川前通3ノ町2230番地 TEL：025-228-6111



第18回 新潟技調講演会 申込用紙

下記の事項をFAX・はがき・Mailのいずれかでお送りください。

ふりがな 氏 名	住所または所属会社名	電話番号
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	

（個人情報とは、本講演会の開催目的以外には使用しません。）

FAX：025-227-1205
Mail：pa.hrr-gichoinfo@mlit.go.jp